

## 令和6年度 第2回施設運営協力委員会記録

日時：令和7年3月4日(火) 10:30～12:00

場所：ネイパル北見第4研修室

出席者：8委員（欠席 熊木委員、佐藤委員）

福田理事長、加茂所長、風間社会教育主幹 計11名

## 議事

○令和6年度施設運営及び主催事業報告について(第3四半期まで)

## ①利用者状況について

・令和7年2月までの、利用状況の説明。延べの宿泊者数や団体は増えているが、一つの団体人数が小さい為、延べ利用者数が減少している。延べ利用者についても、昨年度数値を維持できない状況。利用料金は、宿泊数の増加でプラス40万円(3月見込み計算で)。

## ②主催事業状況について（別添報告書添付）

・参加者充足率は、今週の事業が終わった段階で約96.1%となり、管理目標の90%を達成可能。前回質問があった、オホーツク管内地域別の参加者割合を報告。  
更に次年度はLINEを使った参加者募集を開始予定。防災体験事業の新聞等掲載を報告。

## ③アウトリーチについて

・ここまで、各市町村や様々な団体からの要望で12団体実施。次年度も引き続き地域の要請に沿って職員を派遣していく予定。あわせて、対象の内訳や内容を報告。

## ④施設管理目標について

・各項目の数値から、評価は「A」となり目標をクリアしているが、宿泊稼働率の60%は厳しい数値となっている。2月末時点では46%となっている。

## 【委員からの質問、意見など】

・冬の防災体験は、学校教育では難しいこと、家庭教育の観点からも親子での防災体験は良い企画と感じた。引き続き心を揺さぶる体験を継続してほしい。(A委員)

・アウトリーチ事業は、日帰りにはカウントされるのか?(B委員)

→施設利用者ではないため、カウントされない。

・ボランティアについて、現状はどうか?(B委員)

→近隣の大学(農大・工大・看護大)等に声がけしているが参加者は少ない。事業形態によって、事業参加者やリピーターに声がけし、小学校から中学・高校生に参加してもらっている。組織的までには至っていないのが現状。

→(B委員)網走市も交通費等で1000円支給している。登録は96名程いる(高・大生)。

・負担金について、現状は？また、自主財源確保などはできるのか？（C委員）

→光熱水費については、年度末に補填がある。また、次年度は光熱費+人件費分の補填が協定書変更によって実施される予定。

・北見市とコラボでSUPなど自主事業が可能では？（C委員）

→自主財源については、施設内の使用許可や電気代など様々な協議が必要となっている。アイデアはあるので、検討し協議していきたい。北見市との観光促進もふくめ、ツアーやプログラム等も受け入れていくことも検討している。

#### ○情報提供

・食堂運営に関して

4月に食事料金の改定を実施する。最近の物価上昇の影響で、食堂運営が厳しい状況から、他道立施設も金額の改定をしており、現状の内容を維持するにも値上げが不可避と判断した。

・道立青少年教育施設の在り方(素案)についてのパブリックコメント結果を報告。

施設運営に参考となる意見もあったので、取り入れ運営していきたい。

(SNS、地域の場所づくり、ルールの柔軟性など)

・宿泊税については、令和8年度(2026年)道と北見市で導入が決定されているので、利用料金の変更等は考えていない。主催事業の体験代もアップすることから、体験格差が生まれる可能性も出てくるのではと懸念している。

・不登校対応の事業に向けて、関係団体とのつながりづくりを実施。(主幹)

・網走教育研修センター講座「体験活動」を次年度より実施。現在要項作成中。(主幹)

・6月に網走市でジャパン・アウトドア・リーダーシップ・カンファレンス(野外指導者や教育者の国際ネットワーク)が開催されますので、研修の一環としてご周知願います。

・道新(全道版)の「まなぶん」子ども記者(主催事業参加者)によるネイパル北見の取材記事の紹介。

#### ○事務局より

・今年度の運営委員会は今回で終了し、次年度の開催は、10月又は11月を予定している。

以上